

粘土作品制作(ランタンを作ろう)

対象の児童・生徒

- ・道具を使用して作品制作活動を行う児童・生徒
- ・手や腕を使って均等に力を入れることに課題がある児童・生徒
- ・両手を動かして操作することをねらいとしている児童・生徒

ねらい

- ・めん棒や型抜きを使い、粘土が伸びる感覚や粘土の沈む感覚を感じ取りながら作品を作る。
- ・手指や腕を動かし感じ取ったことや表したいことを表情や声、身体の動きで表現する。
- ・用途に合わせた道具の使い方を知る。

教材の使い方

- ①粘土を型の中心に置く。
- ②めん棒を使って型の内側いっぱい粘土を延ばす。
- ③児童の実態に合わせて、めん棒の太さや種類を変える。
- ④型抜き等を使って伸ばした粘土に光が差し込むための穴を空ける。

教材の作り方

- ①同じ幅、高さの木材を2本、短い幅の木材を1本用意する。
(木材の高さが揃わない場合は、他の木材を使って高さを揃える)
- ②木材を組み合わせて木工用ボンドで接着する。



木材に高さを付けることで、均等に粘土を延ばせるようにする。

伸ばした粘土に型抜きをして、外から光が見えるようにする。

